

図書館だより



行健第二小学校図書館 平成 29 年 3 月 3 日発行 No. 12



もも せつく お 桃の節句も終わるころになると、春の訪れを感じ

るようになります。

がついつか けいちつ ふゆ あいだ じめん した ねむ 3月5日は啓蟄です。「冬の間地面の下で眠って

むし いた虫たちが、外に出て活動を始めるころ」という意

み 味です。みなさんも春の訪れを体で感じてみてください。



図書室からのお知らせ

がっき か だ がつとおか きん しゅうりょう にち すい ぜんいんほん 3学期の貸し出しは3月10日(金)で終了します。15日(水)までに全員本を

かえ 返してください。

ぜん らいねん つづ ことしぜん 「全クリチャレンジ！」は来年も続けてチャレンジできます。今年全クリで

ひと ぜん ようし きなかつた人は、全クリ用紙をなくさないでください。

シリーズ完読しました！

3年1組 Y・Sさん
3年3組 M・Kさん
4年1組 E・Mさん
4年3組 A・Hさん

3年2組 A・Sさん
4年1組 H・Uさん
4年3組 H・Sさん
5年3組 R・Aさん

3年2組 R・Wさん
4年1組 M・Nさん
4年3組 M・Tさん
5年3組 H・Yさん

ひな祭り

「ひな祭り」は「桃の節句」ともいわれ、女の子のすこやかな成長を祝う日ですが、日本で古くから行われていた「禊」や「祓い」という身を清める儀式と合わさり、ひな祭りの原型ができていったようです。昔は草わらなどで人形を作り、これで自分の体をなでて身についた穢れや災いを人形に移し、川や海などに流していました。これを「流しびな」といって、今でも行っている地方があります。

平安時代になると、貴族の幼女が紙のひな人形で今のままごとのような「ひいな遊び」をするようになり、室町時代には「飾りびな」が作られるようになりました。江戸時代には女の子の節句と決まり、豪華なひな人形が作られるようになりました。その後は庶民にも広まり、多くの人に親しまれる行事となりました。

「日本の年中行事3月・4月」より

『パオズになったおひなさま』 佐和みずえ 著



愛花の家ではひな祭りにおばあちゃんが作った肉まんを食べます。おばあちゃんにその理由をたずねると70年前中国に住んでいたこと、中国人のリンちゃんとも友だちになったこと、戦争が原因でリンちゃんと遊ばなくなったこと、中国にいられなくなったことなど話してくれました。

戦争で引き裂かれた
2人が友情の証に交換
したものは・・・

